

ビケンワクチンニュース

【2008年4月号】



MRワクチン第3期・第4期の接種が始まります！

2008年4月1日から5年間の期限付きで、麻疹と風疹の定期予防接種に第3期と第4期の接種が加わります。これは、麻しんワクチンを1回しか受けていない世代に対しての補足的な2回目の接種です。この接種は、2012年麻疹排除に向け、2007年春に麻疹が流行したことを受けて、予防接種を受けたのに免疫を獲得できなかった人や免疫を獲得したが落ちてきている人、接種自体をしていない人に免疫をつけることで麻疹の流行を抑制することが目的です。

<第1期> 1歳児

<第2期> 5歳以上7歳未満で、小学校就学前の1年間に該当する者

<第3期> 13歳となる日の属する年度に該当する者
(中学1年生に相当する者)

<第4期> 18歳となる日の属する年度に該当する者
(高校3年生に相当する者)



【注意】麻疹及び風疹に罹患したことが確実な者、それぞれの予防接種を二回接種した者を除く。

麻疹に関する特定感染症予防指針では、麻疹対策のさらなる強化のため、国、地方公共団体、医療関係者、教育関係者等が連携して取り組んでいくべき施策についての方向性を示しています。この中で、「予防接種法に基づく予防接種の一層の充実」として、予防接種対象者の拡大以外にも、以下のような取り組みが挙げられています。

個別通知による 確実な接種勧奨

定期の予防接種実施要領の改正に伴い、やむを得ない事情がある場合を除き、各市町村による個別通知となりました。これにより、高等学校に通っていないものを含む対象者への確実な接種勧奨を行います。

就学時健診健診及び学校での定期健康診断の機会を利用し、対象者の罹患歴及び予防接種履歴を確認し、未罹患であり、かつ、麻しんの予防接種を必要回数接種していない者に接種勧奨を行います。

文部科学省との 協力体制

保護者同伴要件 の緩和

定期の予防接種では、原則として保護者の同伴が求められますが、第3期及び第4期に相当する年齢の者に対する定期予防接種(以下、補足的接種)に限り、保護者の同伴を例外的に不要とすることが可能となりました。ただし、事前に保護者に対して十分な情報提供を行い、書面での了承及び予診票への保護者の署名を得ることが条件となります。

定期の予防接種では、原則、診療所等での個別接種となりますが、補足的接種に限り、学校医等と連携をとり、中学校及び高等学校等での接種を実施することが可能となりました。ただし、応急治療措置、緊急搬送措置等について安全面で遵守すべき事項があります。

集団接種も可能

麻しん風しん混合 ワクチンの接種

補足的接種に用いるワクチンは、風疹対策の観点も考慮し、原則として、麻しん風しん混合ワクチンとなります。既罹患歴があっても混合ワクチン使用は可能です。

【出典：麻しんに関する特定感染症予防指針・「定期の予防接種の実施について」の一部改定(H20.3.21：健発第0321008号)】

医療用医薬品へのバーコード表示について

(出典：医薬品・医療機器等安全性情報 No.229)

厚生労働省の通知により、医薬品の名称や外観の類似性に係る医療事故防止対策の一環として、医療用医薬品の取り違えによる医療事故の防止及びトレーサビリティの確保を目的とした、医療用医薬品の個装箱、注射剤のラベル及びダンボール箱への新バーコードの表示が義務付けられました。

包装形態の単位は、①調剤包装単位(バイアル、アンプル等の最小の包装単位)、②販売包装単位(個装箱等の医療機関等に販売される最小の包装単位)、そして、③元梱包装単位(ダンボール箱等の販売包装単位を複数梱包した包装単位)の3つに分けられ、医療用医薬品の種類に応じ、商品コード、有効期限、製造番号などを表示します。ワクチンは生物由来製品に区分されるため、下表の□の項目に該当します。

医療用医薬品の種類	調剤包装単位			販売包装単位			元梱包装単位			数量
	商品コード	有効期限	製造番号	商品コード	有効期限	製造番号	商品コード	有効期限	製造番号	
特定生物由来製品	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
生物由来製品	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
内用薬	◎	○	○	◎	○	○	○	○	○	○
注射薬	◎	○	○	◎	○	○	○	○	○	○
外用薬	◎	○	○	◎	○	○	○	○	○	○

生物由来製品の場合、平成20年9月以降に製造販売業者から出荷されるものに全て表示します。ただし、年1回しか製造していないもの等、特段の事情があるものは、平成21年9月から表示します。

◎：必ず表示するもの(必須表示)
○：必ずしも表示しなくて差し支えないもの(任意表示)
生物由来製品：特定生物由来製品を除く
内用薬・注射薬・外用薬：(特定)生物由来製品を除く

企画編集：財団法人阪大微生物病研究会 (<http://www.biken.or.jp>)
4月号担当：藤田、福田、森川、橋本、今井、武田
発行：財団法人阪大微生物病研究会／田辺三菱製薬株式会社

▲上記本文中のホームページの内容に関するお問い合わせは、お受けしておりません。



BI-S07630804B03